

Q.1 環境基本計画とは?

「環境にやさしい広島づくりと次代への継承」を基本理念に、私たちを取り巻く環境の課題解決に向けた方向性を示します。

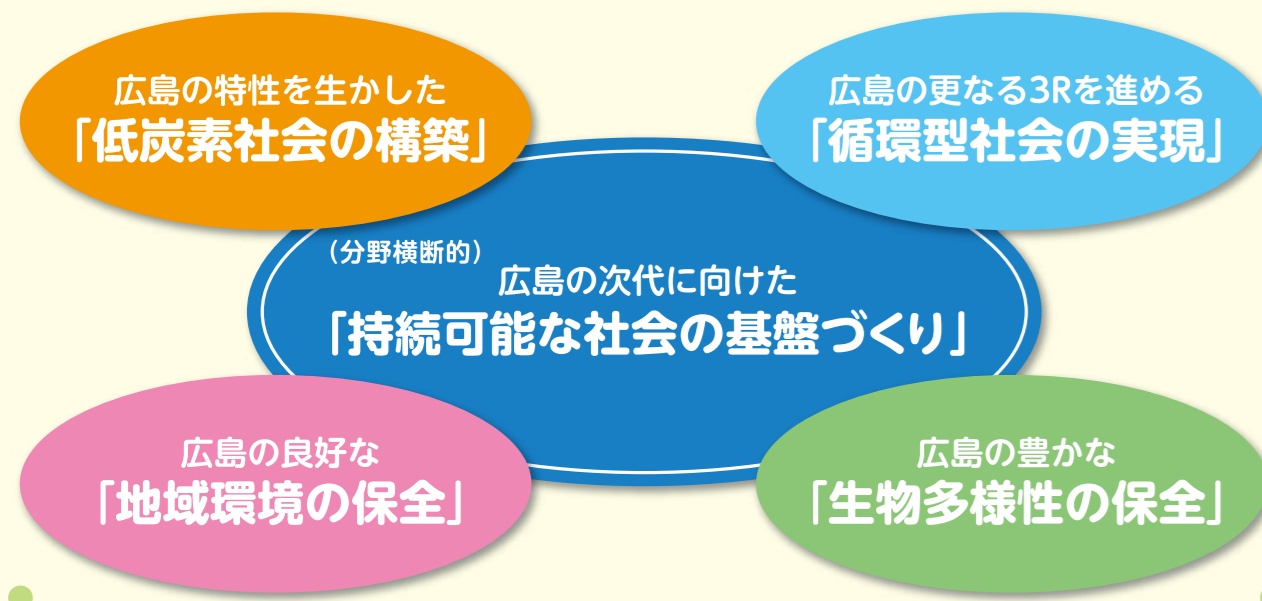
Q.2 計画のポイントは?

計画の策定に当たって、次のポイントを重視しました。

- 環境への負荷の少ない持続可能な地域社会づくり
- 環境と経済の好循環に向けた未来への投資
- 本県の地域特性や強みを生かした施策の展開

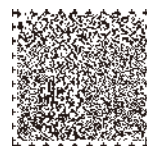
Q.3 重点的に取り組む施策の方向は?

基本理念を実現する5つの施策体系



Q.4 どんな社会を目指しているの?

各施策体系ごとに、概ね10年後に目指す姿(将来像)を示しています。



音声コード②

**エコな生活を**  
毎月第一土曜日は「ひろしま環境の日」  
「ひろしま環境の日」は、みんながエコ生活を実践する日です。身近にできることから一緒に取り組みましょう。★

**エコドライブ・エコ通勤**

- 環境に優しいエコドライブ
- 出かける時は、徒歩、自転車、公共交通機関で

**エコな買い物**

- マイバッグの持参
- 地元産品やエコ製品の購入

**省エネ生活**

- 電気・水道・ガスの使い方をチェック

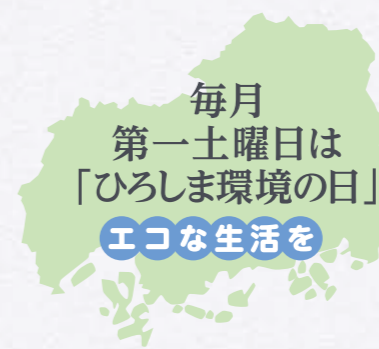
広島県環境県民局環境政策課  
〒730-8511 広島市中区基町10-52  
TEL (082)513-2911 FAX (082)227-4815  
電子メールアドレス kankansei@pref.hiroshima.lg.jp  
(表紙写真提供: 脇山 功, 撮影場所: 大崎上島町アマモ群生地)

詳しくは広島県の環境情報サイト「ecoひろしま」をご覧ください。

ecoひろしま 検索 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/eco/index.php>

リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

概要版



# 第3次 広島県環境基本計画

平成23(2011)年度～平成27(2015)年度

～環境にやさしい広島づくりと次代への継承～



持続可能な社会に向けて、あらゆる主体が考え行動することで、広島が変わる。

平成23(2011)年 3月



## 私たちを取り巻く 環境の課題

**温暖化の危機**

【現状】

- 広島市の平均気温は、過去100年で約2℃上昇
- 平成19年度の県内から排出される二酸化炭素の量は、平成2年度に比べ、34.6%増加
- 温暖化の進行は、降水量の変化、風水害、生態系や農林水産業、健康への被害など大きな影響をもたらすと予測

広島市及び呉市の年平均気温の推移

【課題】

- 低炭素社会づくりに向けた温暖化防止対策

【第2次広島県地球温暖化防止地域計画】で詳細を定めます。

**地域環境の更なる改善**

【現状】

- 海域のCODや大気中の光化学オキシダントの環境基準の達成率が低い
- 水質汚染事故は、毎年200件程度発生
- 科学的に解明されていない化学物質による環境への影響

【課題】

- 環境に排出される負荷の更なる低減

BOD(河川), COD(海域、湖沼)環境基準達成率(%)

**課題解決のための基盤整備**

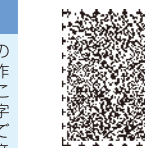
【現状】

- 県民の環境意識は向上しているが、必ずしも具体的な行動に結びついていない
- 地球温暖化対策などに関わる環境関連産業の市場規模の拡大が期待されている

【課題】

- 多様な主体と連携・協働した普及啓発の推進
- エコビジネスの育成・集積に向けた取組の推進

これは音声コードです。 目の不自由な方への情報提供を目的に作られたものです。この音声コードを、活字文書読み上げ装置で読み取らせると、音声で読み上げます。



音声コード①

**資源循環の更なる推進**

【現状】

- 一般廃棄物の排出量は、減少傾向にあり、平成20年度では約95万トン
- 産業廃棄物の排出量は、概ね年間1,400万トンで推移
- 依然として後を絶たない不法投棄等の不適正処理

産業廃棄物の不法投棄発生状況の推移(投棄量10t以上の事案)

【課題】

- 天然資源の消費抑制、廃棄物の安全・安心な処理

【第3次広島県廃棄物処理計画】で詳細を定めます。

**生物多様性の危機**

【現状】

- 人間活動や開発、生活様式や産業構造の変化等により、自然環境の量的な減少や質的な劣化が懸念
- 絶滅が危惧される野生動物の種数が増加傾向
- イノシシ、ニホンジカなどによる生態系、農林水産業等への影響が発生

【課題】

- 生態系の保全と希少野生動物の種の保護